

「キャリア形成支援セミナー」 〈報告〉

「キャリア形成支援セミナー」 日時：2019年12月25日（水）15：30～17：30
会場：香川大学幸町南キャンパス 総合教育棟（DRI棟）
1階 第11講義
参加人数：72名

12月25日（水）に、香川大学幸町南キャンパス総合教育棟（DRI棟）において、「キャリア形成支援セミナー」を開催しました。

本セミナーは、徳島大学を代表機関とする2019年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」において実施すべき女性研究者の研究力向上を図るための取り組みに基づいて実施され、女性研究者等の上位職・管理職への登用を促進するとともに、女性研究者等の割合および登用率の向上を図るための環境づくりとして、開催したものです。

第1部の「女性リーダー育成セミナー」に引き続いての参加者に加え、当日参加、学外の方の参加もあり、計72名の参加がありました。講師の吉武先生から、ダイバーシティによりイノベーションを起こすことが必要となっているが、イノベーションとは知の再構築である。大学においては働き方改革と公正な待遇がポイントとなり、大学のキャリア形成とワークライフバランスを実現することが理想である。個人が生活を通して成長することにより、組織へ貢献する結果となる。また、女性活躍と生産性は関係があるなどの大変興味深いお話をいただきました。

参加者からは「組織運営について考える機会になった。」「先生の人柄が感じられる分かりやすい講演であった。」「WLB、女性活躍・働き方改革・ダイバーシティの大切さを改めて認識した。」「大学・民間の視点をもった先生の話は面白かった。現状をふまえてどのように進むべきかという前向きな話がよかった。」といった声や、「ダイバーシティ無くしてイノベーションは起こり得ない。リーダーシップにとって最も重要な要素は「信頼」である。」「女性管理職の割合が高い企業は、生産性・競争力が高い。」など印象に残ったことが多かったという意見も多く、大変有意義なセミナーとなりました。

以下、セミナーについての参加者からの感想（一部抜粋）

- 個人は組織の中ではなく、外にいるもので、個人と組織がともに成長する好循環をつくり出すという点が印象的でした。
- 個人が生活を通して成長することにより、組織へ貢献する結果となることは、非常に共感しました。
- 現在の社会と大学の課題を鋭く突いて、ストレートな論調が印象的であった。
- 性別を見るのではなく個人の適性を生かしたキャリアを形成していくことが大切だと感じました。
- 今の大学（と自分）が置かれている立場（状況）を俯瞰して考えることができた。
- 男性・女性関係なく全員が幸せに仕事ができる環境になっていけばいいと改めて感じました。



▲セミナー時の様子 幸町南キャンパス 総合教育棟（DRI棟）